

図書館と業務と私

整理課 武田美紀

自分に所有権のない本には、何となくせかされているような雰囲気があって、図書館の本は、実はあまり好きではない。どんなに必要な本でも、期限じゃ足りないと思っても、よほどでない限り期限一杯まで持っていられない。借りた本を読むことが最優先事項になってしまう。夏向きの戯言を言うなら、未来の借り手達からの圧力かもしれない。

それでも、学部生ごときには贅沢すぎる金額と、どこでも手に入るわけではないことで、大学時代は年次を追うごとに図書館利用が増えていった。図書館も図書も、文字通り利用するもの、資料でしかなくなっていた。母校はキャンパスが分かれていて、3、4年の通う本部キャンパスの図書館には研究資料や参考図書類ばかりだったせいかもしれない。少なくとも、1、2年の時は読むための本を探しに図書館へ行く方が多かった。

そんな図書館の本を図書館の本として存在させるための仕事をしている。希望が叶ったという点では仕事運に恵まれたが、格闘ものの1年だった。話に聞く新米社会人生活に比べて不安を覚えるほどに甘やかされているように自分でも思うが、どっこい、整理課には小姑がいたのである。

某社のパソコン、使用者を識別するという高度なファジイ機能を身につけた彼女(?)は、私にだけドライブの1つを使用することを、おまえが悪いといわんばかりの態度で拒否し続けた。経験がものいう職人技のような整理課の業務の中、当時唯一の仕事を奪われてはお手上げである。もう一つのドライブを使用しながら、ひたすら下手に出る毎日に、「武田が機械を壊した」という信憑性が高す

ぎて笑えない噂が館内を広まったらしい。結局、掃除をしなかったのが原因らしいというのだから、小姑以外のなんだというのだろう。

おまけに、持ち前の要領と当たりの悪さが影響したらしく、たまにしか使わない記号や約束事に次々出くわし、9月、実習生を迎える頃には、たいがいの事はやりつくして何でも来いになっていたのだから、塞翁が馬とはこういうことかと思う心中は、なかなか複雑なのである。

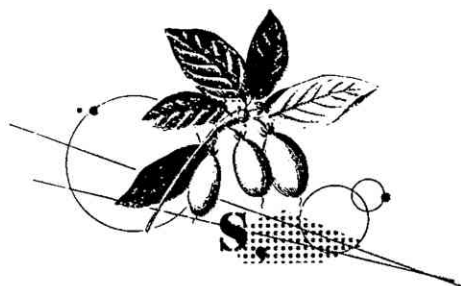
整理課の仕事には誘惑も多い。英国の庭やガウディの建築に見とれたり、辞典をめくる手が止まらなかったり、古い新聞記事に笑いをこらえたり、整理する手が止まろうとするのを小心な良心がひきとめるのである。データを作ったり分類をつけたりするために本に目を通すのは、今まで学部も読書傾向も文学系ばかりに傾りがちだったので、新しく知る楽しさがある。辞書まで調べてわからないことも多々あるが、わからないなりにおもしろかったりもして、楽しすぎると誘惑されるのである。利用者が見ることのないブックカバーの綺麗さや新刊案内など、この課だけ(?)の楽しみもある。

結局、整理課の仕事が好きなので、いろんな意味で幸せな人間だと自分でも思う。

大学図書館は、その大学で勉強、研究できることに関する資料の大方はあるところで、資料を一番手軽に手にできるところのように思う。気付いたのは卒論も試験も終わった後だから後の祭りであるが、就職先が大学だということで、ゼミのOBに「勉強が続けられるね」と言われたこともある。大学図書館はそ

ういうところなのだろうと思う。だから、特に学部生の人には、まず、図書館で資料を探してみたいと思う。学部学科が多いから、思わぬ資料が発見できたりもするだろう。なにも見返りなんて期待していないけれ

ど、泣くような思いでパソコンと格闘してデータを作った図書達だから、やっぱり、学内中の人に利用してもらいたいし、大事にして欲しいし、いっぱい使って欲しい。



中央図書館日誌抄

- 平成4年12月1日
通信教育部 図書館実習（8名）
稀観書見学 玉川大学教授 小坂丈予氏
- 平成5年3月27日
私立大学環境対策協議会 図書館見学
- 4月12日
中央図書館蔵稀観書展（近畿大学生物理工学部開学記念） 近畿大学生物理工学部図書館にて開催
- 6月15日
目録情報検索システム（図書）テスト版稼働

編集後記

和歌山県打田町に開学しました生物理工学部図書館からも、緊張感あふれるお便りが届きました。開館準備に追われたあわただしい日々も懐しい思い出となりました。

6月15日、目録情報検索システム（図書）のテスト版が稼働しました。端末機の前で、メモを手到手慣れた検索をする学生、友達と画面を確認しながら検索する学生、係員の説明を受けながら検索する学生、閲覧室の新しいひとコマです。これからも機械化という名目に流されることなく機械化以前と以後とを見据えながら、利用者サービスの充実を考えていきたいものです。

御寄稿くださった皆様、挿絵を描いてくださった楠田先生に心からお礼を申し上げますと共に、より良い館報を作るために皆様の御寄稿をお待ちしています。

編集委員

河合 忠信 森上 修
中尾 民子